

標本に基づく鹿児島県のイトヨリダイ科魚類相

藤原恭司¹・畑 晴陵²・本村浩之³

¹ 〒 759-6595 山口県下関市永田本町 2-7-1 水産大学校海洋生産管理学科

² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館 (水産学部)

³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

イトヨリダイ科は日本から4属22種が知られている(藍澤・土居内, 2013)。これまで鹿児島県におけるイトヨリダイ科魚類を幅広く扱った魚類相調査は行われておらず、過去に行われた鹿児島県内における魚類相調査(例えば今井, 1969; 財団法人鹿児島市水族館公社, 2008; Motomura et al., 2010)においてもイトヨリダイ科魚類の報告は少ない。そこで、本研究では鹿児島県におけるイトヨリダイ科魚類相を明らかにするため、鹿児島大学総合研究博物館に所蔵されている鹿児島県産イトヨリダイ科魚類標本の調査を行った。その結果、4属10種を確認したため、ここに報告する。日本周辺海域におけるイトヨリダイ科の包括的な計数形質の頻度分布はこれまで報告されていないため、今後の分類学的研究の基礎資料として詳述する。

材料と方法

標本の計数・計測方法は原則として Hubbs and Lagler (1947) にしたがう、側線上方および側線下方横列鱗数は Russell (1986) にしたがった。計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位まで測定した。標準体長は体長と表記した。確認された全種の主な計数形質を Tables 1-6 に示した。各種の

分布は、国外、国内、鹿児島県内の順に記載した。本報告に用いた標本は、鹿児島大学総合研究博物館(KAUM: Kagoshima University Museum)に保管されており、標本のカラー写真は同館の画像データベースに登録されている。

鹿児島県産イトヨリダイ科魚類リスト

Nemipterus bathybius Snyder, 1911

ソコイトヨリ (Fig. 1; Tables 1-6)

標本 16 個体 (体長 63.3-175.6 mm): KAUM-I. 98, 体長 76.6 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 4 月 6 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 241, 体長 157.4 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 6 月 19 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 384, 体長 63.3 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 4 月 7 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 390, 体長 147.6 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 8 月 23 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 5955, 体長 119.0 mm, KAUM-I. 5956, 体長 142.1 mm, KAUM-I. 5957, 体長 123.1 mm, 鹿児島湾, 2007 年 7 月 27 日, 本村浩之; KAUM-I. 10207, 体長 161.4 mm, 指宿市開聞岳西側沖 (31°11'21"N, 130°30'6"E), 水深 120 m, 2008 年 6 月 4 日, 延縄, 荻原豪太・吉田朋弘; KAUM-I. 25553, 体長 69.1 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2010 年 2 月 10 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 30457, 体長 86.4 mm, 南さつま市笠沙町高崎山地先 (31°26'00"N, 130°10'05"E), 水深 36 m, 2010 年 3 月 13 日, 定置網, 中畑勝見; KAUM-I. 30507, 体長 104.8 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2010 年 6 月 7 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 30810, 体長 149.4 mm, KAUM-I. 30927, 体長 132.4 mm, 志布志市志布志湾 (31°38'N, 131°14'E), 水深 70-100 m, 2010 年 7 月 8 日, 底曳網, 荻原豪太・山下真弘・大橋祐太; KAUM-I. 31272, 体長 120.0 mm, 志布志市志布志湾 (31°38'N, 131°14'E), 水深 70-100 m, 2010 年 7 月 21 日, 底曳網, 荻原豪太・山下真弘・吉田朋弘・大橋祐太; KAUM-I. 33713, 体長 134.2 mm, KAUM-I. 33714, 体長 175.6 mm, 出水郡長島町伊唐島沖 (32°13'N, 130°12'E), 2010 年 10 月 20 日, KAUM 魚類チーム。

Fujiwara, K., H. Hata and H. Motomura. 2014. Nemipterid fishes of Kagoshima Prefecture, southern Japan. *Nature of Kagoshima* 40: 59-67.

✉ HM: Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

記載 背鰭条数 X, 6–9; 臀鰭条数 III, 5–7; 胸鰭条数 15–16; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 44–46; 側線上方横列鱗数 4; 側線下方横列鱗数 9–11; 総鰓耙数 9–15. 眼下骨の縁辺に鋸歯がない. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がない. 頭頂部の鱗域の先端部は楔形. 頬部の鱗は 3 列. 尾鰭上葉は糸状に伸長する. 胸鰭は長く, 肛門に達する. 生時, 腹面は黄色.

分布 済州島・台湾 (藍澤・土居内, 2013), 南シナ海, フィリピン, インドネシアおよびオーストラリア北西部を含む西太平洋に分布 (Russell, 1990, 2001; 藍澤・土居内, 2013). 国内では若狭湾, 島根県萩川沖, 山口県日本海沿岸, 九州西岸, 相模湾から九州南岸にかけての太平洋沿岸, 伊予灘, 東シナ海南部大陸棚縁辺域に分布する (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では, 標本に基づき鹿児島湾, 薩摩半島西岸, 大隅半島東岸および鹿児島県北西部から確認された (本研究).



Fig. 1. Fresh specimen of *Nemipterus bathybius* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 5955, 119.0 mm SL).

Nemipterus virgatus (Houttuyn, 1782)

イトヨリダイ (Fig. 2; Tables 1–6)

標本 12 個体 (体長 120.1–252.9 mm): KAUM-I. 84, 体長 120.1 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 5 月 1 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 103, 体長 156.2 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 4 月 6 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 279, 体長 121.0 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 7 月 25 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 341, 体長 116.3 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 6 月 11 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I.

426, 体長 90.3 mm, KAUM-I. 427, 体長 97.1 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2006 年 4 月 27 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 6422, 体長 238.3 mm, いちき串木野市串木野沖, 2007 年 9 月 15 日, 高山真由美; KAUM-I. 12733, 体長 149.4 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 130°05'E), 水深 40 m, 2008 年 9 月 27 日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 14714, 体長 84.1 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾津代地先 (31°17'N, 131°05'E), 水深 40 m, 2008 年 11 月 26 日, 定置網, 大瀬智尋; KAUM-I. 55789, 体長 252.9 mm, いちき串木野市串木野沖 (30°42'18"N, 130°14'49"E), 2013 年 7 月 23 日, 福井美乃; KAUM-I. 56739, 体長 60.3 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°18'20"N, 131°06'04"E), 40 m, 2013 年 10 月 10 日, 定置網, 目黒昌利・畑 晴陵・小枝圭太・三澤 遼; KAUM-I. 56959, 体長 176.6 mm, 指宿市沖 (31°14'N, 130°41'E), 2013 年 11 月 7 日, 底曳網, 畑 晴陵.

記載 背鰭条数 IX–X, 9; 臀鰭条数 III, 7–8; 胸鰭条数 16–17; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 44–46; 側線上方横列鱗数 4; 側線下方横列鱗数 8–10; 総鰓耙数 10–13. 眼下骨の縁辺に鋸歯がない. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がない. 頭頂部の鱗域の先端部は楔形. 頬部の鱗は 3 列. 尾鰭上葉は糸状に伸長する. 生時, 側線の始部に赤色斑がある.

分布 日本国外ではベトナムから台湾にかけての南シナ海, オーストラリア北西部およびアラフラ海に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では, 新潟県から九州南岸にかけての日本海・東シナ海沿岸, 鹿島灘から九州南岸にかけての太平洋沿岸, 瀬戸内海, 東シナ海大陸棚に分布する (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では, 標本に基づき鹿児島湾, 薩摩半島西岸, 大隅半島東岸および鹿児島県北西部から確認された (本研究).



Fig. 2. Fresh specimen of *Nemipterus virgatus* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 56959, 176.6 mm SL).

Parascalopsis eriomma (Jordan & Richardson, 1909)

アカタマガシラ (Fig. 3; Tables 1–6)

標本 7 個体 (体長 213.1–266.1 mm): KAUM-I. 7409,

体長213.1 mm, KAUM-I. 7410, 体長244.6 mm, 屋久島北部沖, 2007年12月1日, 釣り, 高山真由美; KAUM-I. 52164, 体長266.1 mm, 馬毛島沖 大隅海峡 (30°51'N, 130°47'E), 2012年10月22日, 釣り, 高山真由美; KAUM-I. 55567, 体長266.0 mm, KAUM-I. 55568, 体長256.4 mm, KAUM-I. 55569, 体長261.0 mm, トカラ列島沖 (29°34'N, 129°38'E), 水深100 m以浅, 2013年7月19日, 釣り, 松沼瑞樹; KAUM-I. 55852, 体長246.0 mm, 奄美大島沖, 2013年7月30日, 釣り, 松沼瑞樹.

記載 背鰭条数 X, 9; 臀鰭条数 III, 6-7; 胸鰭条数 16-17; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 33-35; 側線上方横列鱗数 3-4; 側線下方横列鱗数 12-13; 総鰓耙数 14-16. 前鰓蓋骨に鱗がない. 頭部の鱗域は眼の中央に達する. 眼下骨の縁辺に鋸歯がある. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がある. 鰓耙は棍棒状で長い. 生時, 体側に黄色縦帯がある.

分布 本日本国外ではモザンビークを南限とするアフリカ東岸からオマーン湾, スリランカ, アンダマン海にかけてのインド洋と, インドネシア, フィリピン, 台湾を含む西太平洋および紅海に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では千葉県館山, 八丈島, 駿河湾, 土佐湾, 高知県柏島, 屋久島, 琉球列島から報告がある (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では標本に基づき大隅諸島, トカラ列島および奄美群島から確認された (本研究).



Fig. 3. Fresh specimen of *Parascolopsis eriomma* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 52164, 266.1 mm SL).

Parascolopsis inermis (Temminck & Schlegel, 1843)

タマガシラ (Fig. 4; Tables 1-6)

標本 20個体 (体長44.3-170.0 mm): KAUM-I. 141, 体長65.7 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深27 m, 2006年5月23日, 定置網, 伊東

正英; KAUM-I. 1446, 体長44.3 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2006年12月29日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 3559, 体長60.8 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深27 m, 2006年5月6日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 4305, 体長159.9 mm, 南さつま市笠沙町沖 (31°29'N, 130°02'E), 水深140 m, 2007年7月29日, 刺し網, 宮下透; KAUM-I. 6996, 体長81.7 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2007年2月15日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 10205, 体長147.1 mm, 指宿市開聞岳西側沖 (31°11'12"N, 130°30'6"E), 水深120 m, 2008年6月4日, 延縄, 荻原豪太・吉田朋弘; KAUM-I. 11921, 体長69.7 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深27 m, 2008年6月7日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 21158, 体長98.8 mm, 指宿市知林ヶ島沖 (31°16'38"N, 130°40'18"E), 水深25 m, 2009年7月1日, 定置網, 折田水産; KAUM-I. 21224, 体長92.2 mm, 指宿市知林ヶ島沖 (31°16'38"N, 130°40'18"E), 水深25 m, 2009年7月8日, 定置網, 折田水産; KAUM-I. 26005, 体長47.6 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深27 m, 2008年6月7日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 29074, 体長84.1 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2006年6月21日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 29870, 体長121.1 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2010年4月15日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 30860, 体長120.2 mm, 志布志市志布志湾 (31°38'N, 131°14'E), 水深100-120 m, 2010年6月18日, 底曳網, KAUM魚類チーム; KAUM-I. 31512, 体長78.3 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深27 m, 2010年5月24日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 44862, 体長66.3 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2012年1月24日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 54489, 体長170.0 mm, 南さつま市坊津町野間池沖 (31°24'18"N, 130°02'84"E), 水深116 m, 2013年5月22日, 釣り, 宮下透; KAUM-I. 56202, 体長135.5 mm; KAUM-I. 56203, 体長122.1 mm, 指宿市沖 (31°14'N, 130°41'E), 2013年9月9日, 底曳網, 松沼瑞樹; KAUM-I. 56736, 体長44.4 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深40 m, 2013年10月10日, 定置網, 目黒昌利・畑晴陵・小枝圭太・三澤遼; KAUM-I. 57815, 体長169.0 mm, 熊毛郡中種子町熊野沖 (30°28'N, 130°58'E), 2013年12月4日, 釣り, 高山真由美.

記載 背鰭条数 X-XI, 8-9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 15-16; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 32-35; 側線上方横列鱗数 4; 側線下方横列鱗数 11-14; 総鰓耙数 9-12. 前鰓蓋骨に鱗がない. 頭部の鱗域は眼の中央に達する. 眼下骨の縁辺に鋸歯がある. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がある. 鰓耙は塊状で短い. 生時, 体側に4本の赤褐色横帯がある.

分布 ラッカディブ諸島, スリランカ, アンダマン海を含む東部インド洋, 南シナ海を含む西太平洋に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では日本海南西海域から九州西岸, 千葉県館山から九州南岸にかけての太平洋岸, 東シナ海大陸棚縁辺域, 沖縄島に分布する (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では標本に基づき鹿児島湾, 薩摩半島

西岸, 大隅半島東岸, および大隅諸島から確認された(本研究).



Fig. 4. Fresh specimen of *Parascolopsis inermis* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 10205, 147.1 mm SL).

Pentapodus aureofasciatus Russell, 2001

ヤクシマキツネウオ (Fig. 5; Tables 1–6)

標本 4 個体 (体長 146.3–158.8 mm) KAUM-I. 35, 体長 152.0 mm, 熊毛郡屋久島, 釣り, 原崎 森; KAUM-I. 285, 体長 158.8 mm, 熊毛郡屋久島志戸子沖 (30°27'N, 130°31'E), 水深 25 m, 2006 年 1 月 26 日, 釣り, 中馬初生; KAUM-I. 7777, 体長 146.3 mm, 肝属郡肝付町内之浦湾 (31°17'N, 131°05'E), 水深 40 m, 2006 年 7 月 27 日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 14137, 体長 156.0 mm, 熊毛郡屋久島志戸子沖 (30°27'N, 130°31'E), 水深 20 m, 2008 年 7 月 21 日.

記載 背鰭条数 X, 9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 16–17; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 44–46; 側線上方横列鱗数 3; 側線下方横列鱗数 10–13; 総鰓耙数 11–12. 眼下骨の縁辺に鋸歯がない. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がない. 頭頂部の鱗域は眼窩の前縁を越えるが, 後鼻孔には達しない. 頭頂部の鱗域の先端部は直線状. 尾鰭の両葉は伸長しない. 前鰓蓋骨に鱗がある.

分布 日本国外では台湾 (Russell, 2001; 藍澤・土居内, 2013), フィリピン (藍澤・土居内, 2013), インドネシア, パプアニューギニア, オーストラリア北西岸, ニューカレドニア, フィジー, トンガ, 米領サモア (Russell, 2001; 藍澤・土居内, 2013) から知られている. 国内では和歌山県, 高知県柏島 (山川, 2011; 藍澤・土居内, 2013), 屋久島 (Motomura and Harazaki, 2007; 山川,

2011; 藍澤・土居内, 2013), 鹿児島県黒島 (山川, 2011; 藍澤・土居内, 2013), 琉球列島 (Russell, 2001; 藍澤・土居内, 2013) に分布する. 鹿児島県内では標本に基づき大隅半島東岸および大隅諸島から確認された(本研究). KAUM-I. 7777 (内之浦湾) は鹿児島県本土におけるヤクシマキツネウオの標本に基づく初めての記録である.



Fig. 5. Fresh specimen of *Pentapodus aureofasciatus* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 7777, 146.3 mm SL).

Pentapodus caninus (Cuvier, 1830)

キツネウオ (Fig. 6; Tables 1–6)

標本 KAUM-I. 5087, 体長 132.9 mm, 鹿児島県.

記載 背鰭条数 X, 9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 16; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 46; 側線上方横列鱗数 3; 総鰓耙数 13. 眼下骨の縁辺に鋸歯がない. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がない. 頭頂部の鱗域は前鼻孔まで達する. 頭頂部の鱗域の先端部は直線状. 尾鰭の両葉は伸長する.

分布 日本国外ではニューカレドニア, ヴァヌアツ, ソロモン諸島, パプアニューギニア, マーシャル諸島, パラオ, フィリピン, インドネシアを含む西太平洋に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では屋久島, 琉球列島に分布する (藍澤・土居内, 2013). KAUM-I. 5087 は鹿児島大学水産学部に古くから保管されていた標本であり, 最近鹿児島大学総合研究博物館に移管された. 詳細な産地や採集日などは不明である.

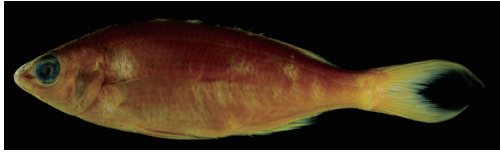


Fig. 6. Preserved specimen of *Pentapodus caninus* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 5087, 132.9 mm SL).



Fig. 7. Fresh specimen of *Pentapodus nagasakiensis* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 48366, 116.0 mm SL).

Pentapodus nagasakiensis (Tanaka, 1915)

イトタマガシラ (Fig. 7; Tables 1–6)

標本 12 個体 (体長 72.6–141.2 mm) : KAUM-I. 27368, 体長 72.6 mm, 大島郡徳之島町亀津 (27°44'20"N, 129°02'20"E), 1955 年 8 月 17 日; KAUM-I. 34482, 体長 136.8 mm, KAUM-I. 34483, 体長 134.9 mm, 大島郡瀬戸内町名瀬漁港沖 (28°23'N, 129°25'E), 水深 60–100 m, 2010 年 11 月 22 日, 定置網, 荻原豪太; KAUM-I. 37602, 体長 121.3 mm, 三島村硫黄島西側 (30°47'04"N, 130°15'42"E), 水深 47 m, 2011 年 5 月 10 日, 釣り, 出羽慎一; KAUM-I. 48366, 体長 116.0 mm, KAUM-I. 48367, 体長 106.5 mm, KAUM-I. 48368, 体長 115.4 mm, KAUM-I. 48369, 体長 110.8 mm, 西之表市大崎漁港沖 (30°46'29"N, 131°00'01"E), 水深 27 m, 2012 年 5 月 24 日, 定置網, 山田守彦; KAUM-I. 54483, 体長 141.2 mm, 甌列島沖 (31°45'N, 129°48'E), 2013 年 5 月 18 日, 釣り, 松沼瑞樹; KAUM-I. 55405, 体長 126.3 mm, KAUM-I. 55406, 体長 119.8 mm, 種子島沖, 2013 年 6 月 18 日, 釣り, 岩坪洗樹; KAUM-I. 58593, 体長 116.1 mm, 薩摩川内市下甌島青瀬沖 (31°39'39"N, 129°44'06"E), 2013 年 8 月 3 日, 定置網, 山田守彦.

記載 背鰭条数 X, 9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 15–16; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 41–44; 側線上方横列鱗数 3–4; 側線下方横列鱗数 12–16; 総鰓耙数 11–13. 眼下骨の縁辺に鋸歯がない. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がない. 頭頂部の鱗域は眼窩の前縁を越えるが, 後鼻孔には達しない. 頭頂部の鱗域の先端部は直線状. 尾鰭の両葉は伸長しない. 前鰓蓋骨に鱗がない.

分布 日本国外では済州島, 台湾 (藍澤・土居内, 2013) 南シナ海, インドネシア, オーストラリア北西岸から知られている (Russell, 1990, 2001). 国内では小笠原諸島, 千葉県館山から南九州にかけての太平洋岸, 屋久島, 琉球列島に分布 (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では標本に基づき鹿児島県北西部, 薩摩半島西岸, 大隅諸島および奄美群島から確認された (本研究).

Scolopsis bilineata (Bloch, 1793)

フタスジタマガシラ (Fig. 8–9; Tables 1–6)

標本 13 個体 (体長 20.8–172.2 mm) : KAUM-I. 6879, 体長 151.9 mm, 大島郡瀬戸内町須手棧橋 (28°08'59"N, 129°18'04"E), 2007 年 9 月 30 日, 釣り, 泉 修蔵; KAUM-I. 11334, 体長 168.9 mm, 熊本郡屋久島町栗生カマゼノ鼻西側 (30°16'03"N, 130°24'47"E), 水深 0–3 m, 2008 年 8 月 12 日, タモ網, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 15129, 体長 135.5 mm, 大島郡奄美大島, 1975 年 7 月 3 日; KAUM-I. 19840, 体長 79.4 mm, 鹿児島県奄美大島古仁屋魚市場, 1975 年 6 月 13 日; KAUM-I. 24306, 体長 172.1 mm, 大島郡瀬戸内町小名瀬 (28°10'58"N, 129°15'49"E), 水深 1–2 m, 2009 年 8 月 23 日, 釣り, 泉 忠孝; KAUM-I. 30768, 体長 49.0 mm, 南さつま市笠沙町片浦漁港外 (31°25'N, 130°10'E), 水深 3 m, 2010 年 8 月 18 日, 伊東正英; KAUM-I. 37615, 体長 172.2 mm, 三島村硫黄島西側 (30°47'04"N, 130°15'42"E), 水深 5–10 m, 2011 年 5 月 10 日, タモ網, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 39768, 体長 20.8 mm, 大島郡与論町皆田海岸 (27°03'13"N, 128°27'02"E), 水深 1–3 m, 2011 年 8 月 10 日, タモ網, 吉田朋弘・西山 肇・岩坪洗樹; KAUM-I. 39897, 体長 44.6 mm, 大島郡与論町茶花港内 (27°03'01"N, 128°24'05"E), 水深 0.5 m, 2011 年 8 月 12 日, 投網, 松沼瑞樹; KAUM-I. 42017, 体長 151.4 mm, 熊本郡屋久島志戸子沖 (30°26'95"N, 130°31'27"E), 水深 12 m, 2011 年 10 月 22 日, タモ網, KAUM 魚類チーム; KAUM-I. 45765, 体長 144.8 mm, 大島郡与論町供利漁港沖 (27°01'54"N, 128°24'29"E), 水深 5–10 m, 2012 年 4 月 15 日, タモ網, 山下真弘・吉田朋弘; KAUM-I. 55893, 体長 148.3 mm, 西之表市国上大久保漁港 (30°46'22"N, 131°00'29"E), 水深 3 m, 2013 年 8 月 4 日, 釣り, 目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国; KAUM-I. 56325, 体長 115.2 mm, 西之表市国上浦田沖 (30°49'36"N, 131°02'11"E), 水深 6 m, 2013 年 9 月 20 日, 鈷, 千葉 悟.

記載 背鰭条数 X–XI, 8–9; 臀鰭条数 III, 6–7; 胸鰭条数 16–17; 腹鰭条数 I, 4–5 側線有孔鱗数 42–45; 側線上方横列鱗数 4–5; 側線下方横列鱗数 13–15; 総鰓耙数 9–10. 眼下骨の縁辺に鋸歯がある. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がある. 眼下骨と眼の間に前方棘がある. 臀鰭の前半部は黒い.

分布 ラッカディブ諸島から, オーストラリ

ア北岸, ニューカレドニア, フィジー, 台湾にかけてのインド・西太平洋に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では八丈島, 駿河湾から高知県沖ノ島にかけての太平洋岸, 屋久島, 琉球列島に分布する (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では標本に基づき薩摩半島西岸, 大隅諸島および奄美群島から確認された (本研究). KAUM-I. 30768 (南さつま市笠沙町) は鹿児島県本土におけるフタスジタマガシラの標本に基づく初めての記録である.



Fig. 8. Fresh specimen of *Scolopsis bilineata* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 55893, 148.3 mm SL).



Fig. 9. Fresh juvenile specimen of *Scolopsis bilineata* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 30768, 49.0 mm SL).

Scolopsis affinis Peters, 1877

ヒメタマガシラ (Fig. 10; Tables 1–6)

標本 2 個体 (体長 63.3–70.7 mm) : KAUM-I. 34026, 体長 70.7 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2010 年 11 月 2 日, 定置網, 伊東正英; KAUM-I. 25983, 体長 73.3 mm, 南さつま市笠沙町片浦崎ノ山東側 (31°25'44"N, 130°11'49"E), 水深 27 m, 2009 年 9 月 25 日, 定置網, 伊東正英.

記載 背鰭条数 X, 8–9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 16–18; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 43–44; 側線上方横列鱗数 4–5; 側線下方横列鱗数 13–14; 総鰓耙数 11. 眼下骨の縁辺に鋸歯がある. 前鰓蓋骨の下縁に鋸歯がある. 前鰓蓋骨に鱗がある. 生時, 体側中央に 1 黄褐色縦帯がある.

分布 台湾 (藍澤・土居内, 2013), インドネシア, フィリピン, 南シナ海, パプアニューギニア, ソロモン諸島, オーストラリア北東岸を含む西太平洋, アンダマン海に分布する (Russell, 1990, 2001). 国内では伊豆大島, 駿河湾から高知県柏島にかけての太平洋沿岸. 屋久島, 琉球列島に分布する (藍澤・土居内, 2013). 鹿児島県内では標本に基づき, 薩摩半島西岸から確認された (本研究). 本記載標本は鹿児島県本土におけるヒメタマガシラの標本に基づく初めての記録となる.



Fig. 10. Fresh specimen of *Scolopsis affinis* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 34026, 70.7 mm SL).

Scolopsis monogramma (Cuvier, 1830)

ヒトスジタマガシラ (Fig. 11; Tables 1–6)

標本 2 個体 (体長 288.0–308.0 mm) : KAUM-I. 56295, 体長 308.0 mm, 熊毛郡中種子町長浜海岸阿高磯沖 (30°31'N, 130°54'E), 水深 14–15 m, 2013 年 9 月 12 日, 釣り, 高山真由美; KAUM-I. 58658, 体長 288.0 mm, 熊毛郡南種子町島間港 (30°28'02"N, 130°51'38"E), 2014 年 2 月 1 日, 釣り, 高山真由美.

記載 背鰭条数 X, 9; 臀鰭条数 III, 7; 胸鰭条数 18; 腹鰭条数 I, 5; 側線有孔鱗数 45; 側線上方横列鱗数 5; 側線下方横列鱗数 18; 総鰓耙数 9–10. 眼下骨の縁辺に鋸歯がある. 前鰓蓋骨の下

縁に鋸歯がある。尾鰭上葉は伸長する。

分布 日本国外ではアンダマン海からオーストラリア北岸，台湾にかけてのインド・西太平洋に分布する (Russell, 1990, 2001)。国内では屋久島，琉球列島に分布する (藍澤・土居内, 2013)。鹿児島県内では標本に基づき大隅諸島から確認された (本研究)。



Fig. 11. Fresh specimen of *Scolopsis monogramma* from Kagoshima Prefecture (KAUM-I. 58658, 288.0 mm SL).

■ まとめ

日本から記録されているイトヨリダイ科魚類 4 属 22 種 (藍澤・土居内, 2013) のうち，本研究では鹿児島県から 4 属 10 種が記録された。これらは鹿児島大学総合研究博物館に保管されている標本に基づく記録であり，水中写真や国内外の研究機関に保管されている標本を含んでいない。本研究で確認されなかった 12 種のうち，タイワンタマガシラ *Scolopsis vosmeri* は藍澤・土居内 (2013) によって奄美大島から，ヨコシマタマガシラ *Scolopsis lineata* は Motomura et al. (2010) によって屋久島からそれぞれ報告されている。キスジタマガシラ *Parascolopsis tosensis* は日本国内では島根県浜田・敬川沖，土佐湾，九州西岸・南岸に分布するとされており (藍澤・土居内, 2013)，鹿児島県内からも標本が得られる可能性が高い。また，シャムイトヨリ *Nemipterus peronii*，ヒライトヨリ *N. aurora*，モモイトヨリ *N. furcosus*，トンキンイトヨリ *N. thosaporni*，ヒメイトヨリ *N. zysron* およびハクセンタマガシラ *Scolopsis ciliata* は琉球列島から記録されており (藍澤・土居内, 2013)，琉球列島内における詳細な産地は不明であるもの

の，鹿児島県内でもトカラ列島や奄美群島に生息している可能性は高い。カメンタマガシラ *Scolopsis xenochrous* とシンジュタマガシラ *Scolopsis margaritifer* は沖縄島から報告されており (藍澤・土居内, 2013)，これらの種も鹿児島県内に出現する可能性が高いと考えられる。ジャバイトヨリ *N. tambuloides* は国内では西表島からのみ記録されている (藍澤・土居内, 2013) が，同様に八重山諸島以南を主な分布域とするカムリブダイ *Bolbometopon muricatum* (ブダイ科)，ゴマアイゴ *Siganus guttatus* (アイゴ科) が黒潮の影響により鹿児島県本土に遇来した例が報告されており (荻原ほか, 2010；伊東ほか, 2011)，本種も同様に鹿児島県への偶発的な出現が見込まれる。

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり，鹿児島大学総合研究博物館ボランティアのみなさまと同館魚類分類学研究室のみなさまには標本や文献の調査に協力して頂いた。厚くお礼申し上げる。本研究は，鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は JSPS 科研費 (19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265)，JSPS アジア研究教育拠点事業「東南アジアにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワーク構築」，JSPS 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム「熱帯域における生物資源の多様性保全のための国際教育プログラム」，総合地球環境学研究所「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上プロジェクト」，国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」の援助を受けた。

■ 引用文献

- 藍澤正宏・土居内 龍. 2013. イトヨリダイ科. pp. 947-954, 2011-2013. 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- Hubbs, C. L. and K. F. Lagler. 1947. Fishes of the Great Lakes region. Bulletin of Cranbrook Institute of Science, (26): i-xi + 1-186.

- 伊東正英・松沼瑞樹・岩坪洸樹・本村浩之. 鹿児島県笠沙沿岸から得られたアイゴ科魚類ゴマアイゴ *Siganus guttatus* の北限記録. *Nature of Kagoshima*, 37: 161–164.
- 荻原豪太・吉田朋弘・伊東正英・山下真弘・桜井 雄・本村浩之. 2010. 鹿児島県笠沙沖から得られたカンムリブダイ *Boldometopon muricatum* (ペラ亜目: ブダイ科) の記録. *Nature of Kagoshima*, 36: 43–47.
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2007. *In situ* ontogenetic color changes of *Pentapodus aureofasciatus* (Perciformes, Nemipteridae) off Yakushima Island, southern Japan and comments on the biology of the species. *Biogeography*, 9: 23–30.
- Motomura, H., K. Kuriwa, E. Katayama, H. Senou, G. Ogihara, M. Meguro, M. Matsunuma, Y. Takata, T. Yoshida, M. Yamashita, S. Kimura, H. Endo, A. Murase, Y. Iwatsuki, Y. Sakurai, S. Harazaki, K. Hidaka, H. Izumi and K. Matsuura. 2010.

Annotated checklist of marine and estuarine fishes of Yakushima Island, Kagoshima, southern Japan. Pages 65–247 in H. Motomura and K. Matsuura, eds. *Fishes of Yakushima Island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan*. National Museum of Nature and Science, Tokyo.

- Russell, B. C. 1986 Review of the western Indian Ocean species of *Nemipterus* Swainson 1839, with description of a new species. *Senckenbergiana Biologica*, 67: 19–35.
- Russell, B. C. 1990. *FAO species catalogue*. Vol. 12. Nemipterid fishes of the world (thread fin breams, whiptail breams, monocle breams, dwarf monocle breams and coral breams). Family nemipteridae. An annotated and illustrated catalogue of the nemipterid species known to date. *FAO Fisheries Synopsis*, 12: i–v + 1–149.

Table 1. Frequency distribution of dorsal-fin spine and ray counts in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Dorsal-fin spines | | | Dorsal-fin rays | | | |
|----------------------------------|----|-------------------|----|----|-----------------|---|---|----|
| | | 9 | 10 | 11 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 12 | | 12 | | | | | 12 |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 4 | | 4 | | | | | 4 |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 12 | 1 | 11 | | | | | 12 |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 16 | | 16 | | 1 | | | 15 |
| <i>Parascolopsis inermis</i> | 20 | | 19 | 1 | | | 1 | 19 |
| <i>Parascolopsis eriomma</i> | 7 | | 7 | | | | | 7 |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 13 | | 12 | 1 | | | 2 | 11 |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | | 2 | | | | | 2 |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | | 2 | | | | 1 | 1 |

Table 2. Frequency distribution of anal-fin spine and ray counts in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Anal-fin spines | | Anal-fin rays | | | |
|----------------------------------|----|-----------------|---|---------------|----|----|--|
| | | 3 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | 1 | | | 1 | | |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 12 | 12 | | | 12 | | |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 4 | 4 | | | 4 | | |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 12 | 12 | | | 1 | 11 | |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 16 | 16 | 1 | 1 | 13 | 1 | |
| <i>Parascolopsis inermis</i> | 20 | 20 | | | 20 | | |
| <i>Parascolopsis eriomma</i> | 7 | 7 | | 1 | 6 | | |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 13 | 13 | | 2 | 11 | | |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | 2 | | | 2 | | |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | 2 | | | 2 | | |

Table 3. Frequency distribution of pectoral-fin ray and pelvic-fin spine and ray counts in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Pectoral-fin rays | | | | Pelvic-fin spine | | Pelvic-fin rays | |
|----------------------------------|----|-------------------|----|----|----|------------------|----|-----------------|----|
| | | 15 | 16 | 17 | 18 | n | 1 | 4 | 5 |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 12 | 8 | 4 | | | 12 | 12 | | 12 |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 3 | | 1 | 2 | | 4 | 4 | | 4 |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 12 | | 6 | 6 | | 12 | 12 | | 12 |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 16 | 5 | 11 | | | 16 | 16 | | 16 |
| <i>Parascolopsis inermis</i> | 20 | 9 | 11 | | | 20 | 20 | | 20 |
| <i>Parascolopsis eriomma</i> | 7 | | 5 | 2 | | 7 | 7 | | 7 |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 13 | | 2 | 11 | | 13 | 13 | 1 | 12 |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | | | | 2 | 2 | 2 | | 2 |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | | 1 | | 1 | 2 | 2 | | 2 |

- Russell, B. C. 2001. Nemipteridae. Pages 3051–3089, pls. 1–22 in K. E. Carpenter and V. H. Niem, eds. FAO species identification guide for fishery purposes. The living marine resources of the western central Pacific, vol. 5, Bony fishes part 3 (Moridae to Pomacentridae). FAO, Rome.
- Russell, B. C. 2001. A new species of *Pentapodus* (Teleostei: Nemipteridae) from the western Pacific. The Beagle, Records of the Museums and Art Galleries of the Northern Territory, 17: 53–56.
- 山川 武. 2011. 高知県柏島と鹿児島県黒島で採集されたヤクシマキツネウオ *Pentapodus aureofasciatus* (イトヨリダイ科). 南紀生物, 53 (1): 32–34.
- 財団法人鹿児島市水族館公社 (編著). 2008. かがしま水族館が確認した — 鹿児島島の定置網の魚たち. 260 pp. 財団法人鹿児島市水族館公社, 鹿児島市.

Table 4. Frequency distribution of pored lateral-line scale counts in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Pored lateral-line scales | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----|---------------------------|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|---|
| | | 32 | 33 | 34 | 35 | — | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 10 | | | | | | 2 | | | | 8 | | |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 4 | | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 11 | | | | | | | | | | 3 | 6 | 2 |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 14 | | | | | | | | | | 6 | 7 | 1 |
| <i>Parascalopsis inermis</i> | 18 | 1 | 8 | 6 | 3 | | | | | | | | |
| <i>Parascalopsis eriomma</i> | 7 | | 4 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 12 | | | | | | | | 2 | 9 | | | 1 |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | | | | | | | | | | | | 2 |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | | | | | | | | | | 1 | 1 | |

Table 5. Frequency distribution of scales counts above and below the lateral line in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Scales above lateral line | | | n | Scales below lateral line | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----|---------------------------|----|---|----|---------------------------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|--|
| | | 3 | 4 | 5 | | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | 1 | | | 0 | | | | | | | | | | | | | |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 10 | 7 | 3 | | 9 | | | | | | | | 1 | | | 7 | 1 | |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 4 | 4 | | | 4 | | | | | 3 | | | | 1 | | | | |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 11 | | 11 | | 9 | 2 | 6 | 1 | | | | | | | | | | |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 16 | | 16 | | 13 | | 8 | 4 | | 1 | | | | | | | | |
| <i>Parascalopsis inermis</i> | 19 | | 19 | | 16 | | | | | 8 | 6 | 1 | 1 | | | | | |
| <i>Parascalopsis eriomma</i> | 7 | 5 | 2 | | 7 | | | | | | 4 | 3 | | | | | | |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 12 | | 11 | 1 | 10 | | | | | | | | | 2 | 6 | 2 | | |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | |

Table 6. Frequency distribution of upper, lower and total gill-raker counts in Nemipteridae from Kagoshima Prefecture.

| | n | Upper gill rakers | | | | | Lower gill rakers | | | | | | Total gill rakers | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----|-------------------|----|---|---|---|-------------------|---|---|---|---|----|-------------------|---|----|----|----|----|----|----|----|---|
| | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| <i>Pentapodus caninus</i> | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| <i>Pentapodus nagasakiensis</i> | 11 | | 9 | 2 | | | | | 9 | 2 | | | | | | 9 | | | | | | 2 |
| <i>Pentapodus aureofasciatus</i> | 4 | | 3 | 1 | | | | | 3 | 1 | | | | | | 2 | 2 | | | | | |
| <i>Nemipterus virgatus</i> | 10 | | 3 | 7 | | | | | 2 | 6 | 2 | | | | | | 1 | 2 | 6 | 1 | | |
| <i>Nemipterus bathybius</i> | 16 | | 4 | 8 | 3 | 1 | 2 | 2 | 8 | 4 | | | | | 1 | 1 | 4 | 4 | 5 | | 1 | |
| <i>Parascalopsis inermis</i> | 20 | 2 | 13 | 5 | | | 9 | 6 | 5 | | | | | | 9 | 5 | 4 | 2 | | | | |
| <i>Parascalopsis eriomma</i> | 7 | 2 | 1 | 4 | | | | | | | | | 7 | | | | | | | 2 | 1 | 4 |
| <i>Scolopsis bilineata</i> | 13 | | 8 | 5 | | | 7 | 6 | | | | | | | 2 | 11 | | | | | | |
| <i>Scolopsis monogramma</i> | 2 | | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| <i>Scolopsis affinis</i> | 2 | | | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | |